

「膜分離活性汚泥法（MBR）のこれまでとこれから」を考える研究集会

開催趣旨

2005年に兵庫県福崎町において、膜分離活性汚泥法（MBR）が初めて下水道に導入されてから約15年が経過し、現在、20を超えるMBRが稼働しています。MBRの導入当初、懸念されていた膜ファウリングや膜の耐用年数、汚泥処理等の課題についても、これらのMBR施設の運転を通して維持管理・保全に関する経験が蓄積されてきており、数多くの知見が得られてきています。その一方で、次々と大規模MBRの建設が進んでいる海外の状況と比較した場合、我が国でのMBR普及はスピード感に欠けることは否めません。本研究集会では、我が国の下水道におけるMBRの現状を把握するとともに、今後のMBRに期待される役割や普及のための課題について考えます。

開催日時 2020年2月19日（水）13:30～17:10

会場 「けんぼプラザ」集会室 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-37-9

プログラム

(1) 13:40～14:10

「我が国の下水道における MBR の歩みと今後の展望」

地方共同法人日本下水道事業団 技術戦略部技術開発企画課課長代理 糸川浩紀氏

(2) 14:10～14:40

「堺市における泉北水再生センターの運転状況」

堺市上下水道局 下水道部水質管理課水質管理係副主査 村上卓也氏

(3) 14:40～15:10

「平膜 MBR の概要と設計・運転管理について」

株式会社クボタ 環境プラント技術部上下水技術グループ長 永江信也氏

(4) 15:10～15:40

「中空糸膜を用いた MBR の事例紹介」

三菱ケミカル株式会社 分離・アグアケミカル事業部技術グループ マネジャー 小林真澄氏

(5) 15:55～17:10 質疑応答・総合討論

コーディネーター NPO21 世紀水倶楽部 理事 村上孝雄

※交流会 17:30～ けんぼプラザ 2F 「PAL」 会費 3,500 円／人

参加者及び参加費 会員、公共団体、学生：無料、民間企業等：2,000 円／人

申込み 定員 60 名 定員に達し次第締め切ります

21 世紀水倶楽部 HP の[申込みフォーム](#)よりお申込みください。

申込期限は 2020 年 2 月 7 日（金）

※水コン協 CPD 認定プログラム申請中

問合せ E-mail <mailto:sympo-info2@21water.jp> または TEL.03-5395-0533